

株式会社 構造ソフト 今月のイチオシ

2024年3月号

拡張情報

Q&A(適判等からの指摘事例)

「BUILD.一貫VI」(Ver.1.21) ···P1

「BUILD.一貫VI」Q&A ···P6

◆「BUILD.一貫VI」(Ver.1.21)

・共英製鋼株式会社製の「キョウエイリング SD490」「キョウエイリング 785」に対応

2024 年 3 月にリリースした「BUILD.一貫 VI」(Ver.1.21)より、共英製鋼株式会社製の高強度せん断補強筋「キョウエイリング SD490」「キョウエイリング 785」に対応しました。キョウエイリング SD490、785 は RC 大梁、基礎梁、RC 柱に使用でき、入力画面お よび計算書では以下の呼び径で表記します。

・キョウエイリング SD490 : KD10、KD13、KD16

・キョウエイリング 785 : KK13、KK16

| 高強度せん断補強筋 | 会社名 | 大臣認定番号 | 呼び径 | |
|----------------|------------------|-----------|----------------|--|
| キョウエイリング SD490 | 井本制御井子へ社 | — | KD10,KD13,KD16 | |
| キョウエイリング 785 | 兴央 袅剚休式云杠 | MSRB-0131 | KK13,KK16 | |

SABTEC 評価を受けており、既に組み込み済みの SABTEC 高強度せん断補強筋設計指針による高強度せん断補強筋と同様の 計算内容となります。計算の詳細は、『SABTEC 高強度せん断補強筋設計施工指針』を参照してください。

| 高強度せん断補強筋 | 会社名 | 設計指針 | 評定番号 |
|----------------|----------|----------------|---------|
| | | キョウエイリング SD490 | |
| | | キョウエイリング 685 | |
| キョワエイリンク SD490 | 共英製鋼株式会社 | キョウエイリング 785 | |
| +3711777785 | | 設計施工指針 | 20-01R1 |
| | | (2023年6月1日) | |

キョウエイリング SD490、785 の計算内容は、以前に対応済みのキョウエイリング 685 と同様です。キョウエイリング 685 については、「今月のイチオシ」2022 年 3 月号で紹介していますので併せてご覧ください。

また、キョウエイリング SD490、685、785 は中段筋梁に使用でき、最下階の中段筋梁(中段筋基礎梁)には3 段筋が使用できます。中段筋基礎梁については、「今月のイチオシ」2022 年 5 月号で紹介していますので併せてご覧ください。



・高強度せん断補強筋の入力方法

RC大梁の場合は、スタラップで高強度せん断補強筋の呼び径を選択します。

- 1. 入力項目ツリーの[部材リスト]-[RC]-[大梁]で[材料]ボタンを押します。
- 2. [使用材料]の画面が開きます。使用する高強度せん断補強筋にチェックをつけます。

| | 守▼ RC大梁符号: | G1 階: RF | · : · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 央右端 > 軸名: > | |
|----------|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|-----|
| 位は | 置 断面 スラブ | 付着·定着 | | | |
| 1F BE | 左端 コンクリート形 | 狱 | 中央 - コンクリート形状 - 100 (mm) | 石端 コンクリート形状 | |
| RF | | D 550 (mm) | D 550 (mm) | D 550 (mm) | |
| RF 2F | : 鉄筋 | 主筋副主筋 (1) | 鉄筋 主筋 副主筋 () | 鉄筋 主筋 副主筋 () | |
| 3F 2F | 1段筋 | i <u> </u> | 1段筋 3 0 | 1段筋 3 0 | |
| 3F 2F | ····································· | j j | ····································· | ····································· | |
| 3F 2F | | i 0 0 | 3段前 | 1392% | |
| 3F | - 1段筋 呼び径 | i 3 0 D22 v D19 v | 1. 【材料】 | ボタンを押します。 | |
| | 7 5-1 | 鉄筋リスト | 7.65+3 | 7.6=w-7 | |
| | 本数: | | 本鉄: 3 順7 探子: D13 | 本数: 3 | |
| | ະ ເ ປາງສະ | : 200 (mm) | ピッチ: 250 (mm) | ະອາດາຊ. ອາດ ເຊິ່ງອີງ: 200 (mm) | |
| | | | 中央断面を左端断面と同じにする。 | 🔲 右端断面を中央断面と同じにする。 | |
| | 左側: | (mm) 右側:(| mm) かぶり厚 🕦: 40.0(| mm) | |
| | 断面図 | | 0 X57 | 2表示 | |
| | | | | 注非表示 | |
| | | | | | |
| | | | 日本礎の | または中段筋梁・中段筋基礎梁とする | |
| | | | | 基礎梁 🚺 🔷 中段筋梁·中段筋基礎梁 🚺 | |
| | | | | | |
| | 「新」「表示中のデータを | ,追加 | | OK キャンセル ヘルプ | |
| | | | | | |
| | 使用材料 | | | × | |
| | | ト 鉄筋 鉄骨 | | | |
| | 里形鉄 | 筋丸細、高強度せん | 研究開始する | | |
| | | チェックをつけると呼び径 | の選択肢に表示します。 | | |
| | | KSS785 | : S6 ~ S16 | | |
| | | 」 ウルボン | : U6.4 \sim U12.6 | | |
| | | ロ ウルボン785 | : UD10 ~ UD16 * | | |
| | | □ リバーボン785 | : KB0.2 \sim KB12.0 $\%$: K6 \sim K16 | | |
| | | UHY7-7 | : UH6 \sim UH16 | | |
| | | □ ハイデッカ685 | | | |
| | | | : H10 \sim H16 | | |
| | | | : H10 ~ H16 : KH10 ~ KH16 : MD10 - MD16 | | |
| | | □ , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | : H10 ~ H16 : KH10 ~ KH16 : MD10 ~ MD16 : OD10 ~ OD16 | | |
| | | □ スーパーフーブ □ エムケーフーブ □ OT685フーブ | : H10 ~ H16 : KH10 ~ KH16 : MD10 ~ MD16 : OD10 ~ OD16 (OS10 ~ OS16 %) | 2 使田才乙喜始度世4 断满 | 金谷(|
| | | □ , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | : H10 \sim H16 : KH10 \sim KH16 : MD10 \sim MD16 : OD10 \sim OD16 (OS10 \sim OS16 \ll) : T10 \sim T16 | 2.使用する高強度せん断補 | 強筋(|
| | | □ /1/5 /5/00 □ スーパーフーブ □ エムケーフーブ □ OT685フーブ □ パワーリング785 □ スーパーフーブ685 | : H10 \sim H16 : KH10 \sim KH16 : MD10 \sim MD16 : OD10 \sim OD16 (OS10 \sim OS16 \gg) : T10 \sim T16 : KG10 \sim KG16 : JD10 \sim JD16 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | | □ /¬/¬/¬/ □ Z→パーフーブ □ Iムケーフーブ □ OT685フーブ □ パワーリング785 □ スーパーフーブ685 □ Jフーブ785 □ パワーリング685 | : H10 \sim H16 : KH10 \sim KH16 : MD10 \sim MD16 : OD10 \sim OD16 (OS10 \sim OS16 $\%$) : T10 \sim T16 : KG10 \sim KG16 : JD10 \sim JD16 : TA10 \sim TA16 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | | □ / 1/ 5 - 7/-7 □ λ - / ℓ - 7 - 7 □ LΔ 5 - 7 - 7 □ OT6857 - 7 □ / ℓワ - 1/2 7 85 □ λ - / ℓ - 7 - 7685 □ J7 - 7785 □ / ℓワ - 1/2 7 685 ☑ ℓ キョウエ (1) 2 / 5 0 49 | : H10 \sim H16 : KH10 \sim KH16 : MD10 \sim MD16 : OD10 \sim OD16 (OS10 \sim OS16 $\%$) : T10 \sim T16 : KG10 \sim KG16 : JD10 \sim JD16 : TA10 \sim TA16 0 : KD10 \sim KD16 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | | □ / 1/ - 7/-7 □ L/5 - 7/-7 □ L/5 - 7/-7 □ OT6857 - 7 □ / (?ワ-リング785 □ J7-7785 □ /(?ワ-リング685 □ /?ワ-リング685 □ オョウエイリング865 □ キョウエイリング865 | : $H10 \sim H16$: $KH10 \sim KH16$: $MD10 \sim MD16$: $OD10 \sim OD16$ ($OS10 \sim OS16 \%$) : $T10 \sim T16$: $KG10 \sim KG16$: $JD10 \sim JD16$: $TA10 \sim TA16$ 0 : $KD10 \sim KD16$: $KY10 \sim KY16$ | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | | □ / 1/ - 7/-7 □ λ-パ-77 □ LΔケ-7-7 □ OT68577 □ / (*77)-7685 □ J77765 □ / (*77)-7685 □ / (*77)-7685 □ / (*77)-7685 □ / *3*7-(*7)-7685 □ *3*7-(*7)-7685 | : $H10 \sim H16$: $KH10 \sim KH16$: $MD10 \sim MD16$: $OD10 \sim OD16$ ($OS10 \sim OS16 \%$) : $T10 \sim T16$: $KG10 \sim KG16$: $JD10 \sim JD16$: $TA10 \sim TA16$ 0 : $KD10 \sim KD16$: $KY10 \sim KY16$: $KK13 \sim KK16$ | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | | □ ハーソーフーブ □ スーパーフーブ □ エムケーフーブ □ 0T6857ーブ □ パワーリング785 □ スーパーフーブ685 □ リフーブ785 □ パワーリング685 □ オョウエイリング585 □ キョウエイリング785 □ キョウエイリング785 | : H10 ~ H16 : KH10 ~ KH16 : MD10 ~ MD16 : OD10 ~ OD16 (OS10 ~ OS16 ※) : T10 ~ T16 : KG10 ~ KG16 : JD10 ~ JD16 : TA10 ~ TA16 0 : KD10 ~ KD16 : KK13 ~ KK16 陸峰アしています。 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | 補足 | □ / 1 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 | : H10 ~ H16 : KH10 ~ KH16 : MD10 ~ MD16 : OD10 ~ OD16 (OS10 ~ OS16 ※) : T10 ~ T16 : KG10 ~ KG16 : JD10 ~ JD16 : TA10 ~ TA16 0 : KD10 ~ KY16 : KK13 ~ KK16 Eを終了しています。 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | · 補定 · 秋翔 | □ / 1 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 | : H10 ~ H16 : KH10 ~ KH16 : MD10 ~ MD16 : OD10 ~ OD16 (OS10 ~ OS16 ※) : T10 ~ T16 : KG10 ~ KG16 : JD10 ~ JD16 : TA10 ~ TA16 0 : KD10 ~ KD16 : KK13 ~ KK16 : 5を終了しています。 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | 補足 ・ 鉄村鉄防 5 新455 | □ / 1 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 | H10 ~ H16 KH10 ~ KH16 MD10 ~ MD16 OD10 ~ OD16 (OS10 ~ OS16 ※) T10 ~ T16 KG10 ~ KG16 JD10 ~ JD16 TA10 ~ TA16 KK13 ~ KK16 KK13 ~ KK16 Et終了しています。 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | 補足 新料節 不沃斯 | □ / 1 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 | H10 ~ H16 KH10 ~ KH16 MD10 ~ MD16 OD10 ~ OD16 (OS10 ~ OS16 ※) T10 ~ T16 KG10 ~ KG16 JD10 ~ JD16 TA10 ~ TA16 KK010 ~ KV16 KK12 ~ KK16 E&終了しています。 20選択肢に表示し、使用鉄筋 20選択肢で非表示とし、使用鉄 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|
| | 補足 • 鉄約料節 • 沃筋 下、鉄筋 | □ ハーワーフーフ □ スーパーフーフ □ エムケーフーフ □ TLムケーフーフ □ OT6857-7 □ /fワーリング785 □ スーパーフーブ685 □ Jフーブ785 □ パワーリング585 ☑ キョウエイリング585 ◎ キョウエイリング585 ※この製品は販売 ※この製品は販売 ※この製品は販売 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 ※この製品は販売。 | H10 ~ H16 KH10 ~ KH16 MD10 ~ MD16 OD10 ~ OD16 OS10 ~ OS16 ※) T10 ~ T16 KG10 ~ KG16 JD10 ~ JD16 TA10 ~ TA16 KD10 ~ KD16 KY10 ~ KY16 KK13 ~ KK16 E6終了しています。 20選択肢に表示し、使用鉄筋 20選択肢で非表示とし、使用鉄筋 | 2.使用する高強度せん断補 チェックをつけます。 | 強筋(|



- 3. スタラップの呼び径の選択肢に、2.でチェックをつけた高強度せん断補強筋の呼び径が表示されます。
- 4. 高強度せん断補強筋の呼び径を選択します。





R C柱の場合も同様に、フープの呼び径で高強度せん断補強筋の呼び径を選択します。R C 梁で使用する高強度せん断補強筋 を選択済みの場合は、最初からフープの呼び径の選択肢に表示されます。



テキスト入力の場合は、建物データで下線部のように呼び径(「KD 径」「KK 径」)で入力を行います。

| ▼梁(例:キョウエイリング SD490) | ▼柱(例:キョウエイリング 785) |
|---|--|
| GMD2 RF G1 * BD-400*550 (3-3-D22 3- <u>KD13-</u> 200) | CMD2 1F C1 BD-600*600 (4-4-12-D22 2-2- <u>KK13-</u> 100) |



・キョウエイリング SD490、785 の計算ルート3の短期せん断力に対する検討方法の指定方法

入力項目ッリーの[組込建材の計算条件]-[高強度せん断補強筋]-[キョウエイリング SD490、685、785]-[計算条件](テキスト入力時は、許容応力度計算データの[HSSB]の1項目)で指定します。

| SABTEC高強度せん断補強筋の計算条件 | × |
|---|---|
| 計算ルート3の短期せん断力に対する検討方法 ○ 地震時安全性 ● 損傷制御[*] ○ 両方の検討を行う | |
| 柱特別条件の検定 ・検定を行う[*] ・ ・検定を行わない ・ ・ ・ | |
| 損傷制御用の短期許容せん断力計算時の β c(β co)の値 ● pwを考慮して算出する[*] ○ 2/3(2/3 α)とする | |
| - OT685フーブ、スーパーフーブ使用部材計算時に準じる評定の指定 ○ 旧評定とする ● 新評定とする[*] | |
| OK キャンセル ヘルブ | |

・キョウエイリング SD490、785 の終局せん断耐力式の指定方法

入力項目ッリーの[計算条件]-[保有水平耐力]-[耐力式の選択](テキスト入力時は、保有水平耐力計算データの[ULA4]の 9 項目)で指定します。キョウエイリング SD490、785 のデフォルト(入力を省略した場合の設定)は、塑性理論式(修正塑性式) です。なお、靭性指針式を選択した場合は、デフォルトの指定で計算します。

| 梁の世人街所村力式 矩形・T形梁 ○ (孫数0.053 ○ (孫数0.068 ④ (孫数0.068(T形梁(は0.053)[*] | 柱のせんあ所オカ式 短形・円形柱 (孫数0.053: BQsu+0.1 σobj (孫数0.068: BQsu+0.1 σobj[*] (孫数0.053:(0.9+ σo/25)BQsu | 合成梁の弾性剛性 ● 正曲げ時と負曲げ時の ○ 正曲げ時の剛性 ○ 負曲げ時の剛性 |)剛性の平均[*] | 耐力算出時のウェブの考慮 ① 方気影計時の鉄骨梁の ウェブの考慮の指定による[*] 今煮度する(スカラッブあり) 曲げ耐力に考慮しな(い) 考慮する(スカラップなし) | |
|---|--|---|-------------------------------|--|--|
| ⇒29壁・タレ壁付き梁 ● 等価な長方形状面とする[*] ● 壁と梁の断面を分割する 高強度せん断補強筋の耐力式 ● 各高強度せん断補強筋の省略値[*] ● 塑と理論式 | ○ 所成さめでしたでした。 ○ 野田な長方形断面とする[*] ○ 壁と柱の断面を分割する 注のせん断耐力における 片(削ソデ壁の扱い) ○ ソデ壁を考慮する | 梁の横座屈強度の考慮 《 考慮する[*] 《 考慮する[*] 《 考慮しない SRC部材 RC・SRC部材共通 保有水平耐力算定時 プレース圧縮耐力 @ 座屈耐力[*] @ 産屋(参定耐力 wでu算定のための柱梁の曲(が耐力低減係数: RC・SRC部材共通 | | | |
| ○ 荒川式 ● 朝性指針式 討震壁の終局せん断耐力式 ○ 係数:0.068[*] 車スパシ耐震壁の 第□低減率の考慮方法 ○ 低減率を壁ごとに算出する | ● ソデ壁を無視する[*] Pwの上限値: 12 (%) 耐震壁のせん断ひび割れ耐力式 ● 朝性指針式[*] ● 終局強度設計に関する資料の式 | ○ GROENT/J_G ○ 登板が長期応力を負担 ● 登板は長期応力を負担 ◆ 登板は長期応力を負担 | 目する 目しない(付帯柱が負担 コン 降 | 3)[*] クリートの曲げひび割れ応力度: 0.50 伏後剛性と弾性剛性の比々2: 0.00010 | |



◆「BUILD.一貫VI」Q&A (適判等からの指摘事例)

タイトル:計算ルート3なのに柱脚検討フロー③④という表記の出力があると指摘された

Q. 計算ルート3のS造の物件に関して、適合性判定機関より、計算書の「一般露出型柱脚の保有耐力接合の判定結果」でフロー③④の検討と 出力されていますが、フロー③④は、計算ルート1-2あるいはルート2の時の検討ではないですか?と指摘を受けました。どのように対処すればよ いでしょうか?

| §7. §7. | 9. 7 9. 1. | 主脚 | の 財 数 露 日 | 行面検知 日型柱脚 | 官表 即の保有 | 耐力接 | 合の判 | 定結果 | (アンナ | ノ ーボル | トの個 | 申び能力 | 」あり) | | |
|------------|---|-----|-----------------------|---|--|--|---|---|---|--|---|-----------------------------|-----------------------|--|--------------------|
| (1) | 計算纲 | 附 | | | | | | | | | | | | | |
| | アンオ | ラー伸 | び能力 | りの有無 | :有 | | | | | | | | | | |
| | 技術書 | 調解 | 説書(| 2020) の | 「露出型村 | E脚を使っ | った建築物 | の計算ル | レート別の | 設計フロ | - J の | 7=-3 | ④の検討 | | |
| (2) | 記号の | 説明 | | | | | | | | | | | | | |
| | Nd NE Qfu Qu Qu α α Mpc, γ | /Ми | 柱柱柱柱柱柱柱柱柱1.1=1F | のののののの保基の未紡 設短短摩終終有準保満い: 計期期擦局局耐解有 = ヽのX 軸軸曲に曲せ力説耐 * ℓ,方 | 力/NL+ y! カカげよげん皆書力 する 耐 新 部 よ 合 に 接 ま の ろ (M) 向 , (M) に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | NE) ント せん断耐: 変全率 (Qfu, 安全率 の構出型: (Qfu, な合本) (Qfu, なの) (Qfu, なの) (Qfu, なの) (Qfu, なの) (Qfu, (Qfu, なの) (Qfu, (| (1 (kN) 力 (1 (kN) (kN) (Qbu) (1 注脚を使 の判定 (値ヵ(昭) 1.00 | dN) ! dN) (im) | NL : 柱 QE : 柱 Nu : 基 Mpc : 柱 物の計算 1791号第 y= 2.0 | 脚の長期 脚の短辺ク かート別 2による) 0, η= 1. | 軸力 軸力 サーボー かし、 もの し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 | 〕 2)終局圧縮 -メント -メント | 耐力 終局せん断)フロー③の | (kN) (kN) (kN) (kN) (kN・m) | |
| 階 | ·通り | 軸 | 加力方向 | Nd | ME | QE | Nu | Mu | Qfu | Qbu | α | Мрс | α Mpc/Mu | γ QE∕Qu | γ ME/Mu |
| 1F | ¥1 | X1 | + | -597 1166 | 125 125 | 212 53 | 9433 9433 | 380 822 | 179 1061 | 552 552 | 1.30 1.30 | 1149 1149 | 3.93 N0 1.82 N0 | 0.77 OK 0.10 OK | 0.66 OK 0.30 OK |

A. 計算ルート3の場合は、フロー③④の検討は不要です。デフォルト(入力を省略した場合の初期設定)では、計算ルート3の場合、露出型柱 脚の保有耐力接合の判定は行いませんので、結果は出力されません。

指摘の現象は、入力項目ツリーの[計算条件]-[断面計算]-[S](テキスト入力の場合は、許容応力度計算データの [DES4]の9項 目)で露出型柱脚の保有耐力接合の判定を '行う' としていることが原因です。判定を '行う' とした場合は、計算ルートに関わらず判定を 行い、結果を出力します。計算ルート1-2あるいは計算ルート2で求められている検討ですので、フロー③④と出力します。

| 方向架構 | | Y方向架構 | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|
| 梁の上のフランジ拘束 () | 横補剛の検討 ● 計算ルートにより自動設定[*] | - 梁の上のフランジ拘束 ① ◎ なし[*] ○ あり | - 横補剛の検討 ◎ 計算ルートにより自動設定[*] | | | |
| 幅厚比の検討(技術基準) ④ 計算ルート(より自動設定[*] 〇 行う 〇 行う(SN科紙板明定) 〇 行わない | ○ 均等間隔で設ける方法 ○ 端間に近い部分は設ける方法 ○ 行わない ○ 均等間隔がNgなら端部近く 計算ルート3の単のモーメント分布 | 福厚比の検討(技術基準) 計算ルートにおり自動設定(*) 行う 行う(SNF相優和規定) 行わない | 均等問題で設ける方法 端部に近い部分に設ける方法 行わない 均等問題高がNGなら端部版ぶく 計算ルート3の時のモーベルト分布 | | | |
| 柱-梁仕口部強度の検討(保有耐力接合の検討)- 〇 計算ルートにより自動設定[*] | ● 実応力を用いる[*] ○ 全型性モーメントを用いる | 柱 - 梁仕口部強度の検討(保有耐力接合の検討)- | ● 実応力を用いる[*] ○ 全塑性モーメントを用いる | | | |
| ○ 技術基準により行う ○ 行わない ● 接合認識計描針により行う (1) | 梁 - 梁維手部建度の検討(保有耐力接合の検討) ● 計算ルートにより自動設定[×] ○ 行う | 技術基準により行う 行わない 接合部設計指針により行う (1) | 梁一梁進手部建度の検討(保有耐力接合の検討 計算ルートにより自動設定(*) 行う 登性化領域特のみ行う 行わない | | | |
| 曲げとせん断応力の組合せ ④ 行う[*] 〇 行わない | ・ ジョ性化領域時のみ行う ・ ・ ・ | 曲げとせん断応力の組合せ ● 行う図 ○ 行う図 ○ 行わない | | | | |
| 露出型柱脚の保有耐力接合の判定 〇 計算ルートにより自動設定(*) ・ テう | O 1710au | 露出型柱脚の保有耐力接合の判定 | ○ 行わない | | | |
| 柱耐力が染耐力の 1.500 倍よりも小さい場合は材 | 主崩壊と判定 | 柱耐力が梁耐力の 1.500 倍よりも小さい場合は柱崩壊と判定 | | | | |
|] X方向とY方向を同じ設定にする] 露出型性脚の検討に直交応力を考慮する 主の圧縮フランジ支点開設難 ● 節点闇距離(*) 〇 節点闇距離から削減 | 長を引いた距離 | 露出型柱脚(在来工法)のせん単所付力の計算方法 摩擦(なるせん単所付力と引張(側アンカーボルトのせん) 摩擦(なるせん単所付力がN3ならアンカーボルト全本表現) | 単所村力の大きい方とする[*] 気のせん単所利力とする | | | |
| 主の座屈長さ計算時の部材長 ● 節点間距離[*] ○ 節点間距離から剛域: | 長を引いた距離 | ベースブレートの検討に使用するアンカーボルトの引抜力 ●降伏耐力とする[*] | とする | | | |
| ±の座屈の検討 ○ 行う ● 行わない[*] | | 接合部設計指約による仕口部建度の検討の安全率 ∞ ① 400%約: ○ 白 約 400%約: ○ 白 約 | | | | |

計算ルート3でも設計者判断で意図的にフロー③④の検討を行いたいという場合以外は、デフォルトの '計算ルートにより自動設定' としてください。

※ <u>弊社ホームページの Q&A</u>では、この他にも、適判定等からの指摘事例の Q&A を約 320 件、通常の Q&A を 3860 件以上掲載していますので、ご活用ください。なお、 Q&A の閲覧は、<u>トータルメンテナンス</u>を契約中のお客様限定となります。